

平成 21 年 1 月 27 日

第 114 回 県内企業・業況調査結果

株式会社 鹿 児 島 銀 行

株式会社 鹿児島地域経済研究所

[調査要領]	平成 20 年 10 ~ 12 月期実績見込み
対象期間	平成 21 年 1 ~ 3 月期見通し
調査時点	平成 20 年 12 月下旬
対象企業	県内主要企業 503 社
回答状況	回答企業 347 社、回答率 69.0%
特別質問項目	平成 20 年 冬のボーナス支給計画について 最近(平成 20 年 10 月以降)の雇用状況および採用計画について

用語 今 期 = 平成 20 年 10 ~ 12 月期 来 期 = 平成 21 年 1 ~ 3 月期
前 期 = 平成 20 年 7 ~ 9 月期 前年同期 = 平成 19 年 10 ~ 12 月期
予 想 = 前期調査時の今期見通し
D.I. = 「良い」 - 「悪い」、「増加」 - 「減少」、いずれも回答企業割合

1. 今期の業況 ~ 実質悪化

今期の業況 D.I.は▲51 と、前年同期(33)、予想(42)のいずれをも下回り、調査開始(昭和 55 年 7 ~ 9 月期)以来、最低となった前期(51)と同水準にとどまった。しかし、例年業況が改善する 10 ~ 12 月期の傾向からすると、実質的には厳しさが増していると言えよう。

今期は、平成 19 年 10 ~ 12 月期より急速に上昇した仕入価格 D.I. (前期 64 今期 31)が大幅な低下となったにもかかわらず、平成 20 年秋以降の世界的な景気減速の影響をより大きく受け、損益(同 39 46)が調査開始以来、最低であった平成 10 年 1 ~ 3 月期(43)の記録を更新したことが特徴的である。

その他項目でみると、売上・完工高(前期 ▲35→今期 ▲36)はほぼ横ばい、また、資金繰り(同 ▲26→▲24)は前期からほぼ横ばいながら、過去最低となった前期に次ぐ低水準となった。

業況 D.I.を産業別にみると、卸売業(同 56 48)が唯一改善し、製造業(同 42 42)

および建設業(同 68 66)、小売業(同 74 76)、その他産業(同 38 39)は前期とほぼ同水準となった。

2. 来期の業況見通し ~ 悪化

来期の業況見通し D.I.は▲60 と、今期(▲51)からさらに悪化し、過去最低を更新する見通し。項目別にみると、売上・完工高(今期▲36→来期▲51)が大幅に悪化し、損益(同▲46→▲51)や資金繰り(同▲24→▲28)は過去最低を更新する見通し。

業況見通し D.I.を産業別にみると、建設業(同▲66→▲68)、卸売業(同▲48→▲47)、小売業(同▲76→▲76)はほぼ横ばいで推移するものの、製造業(同▲42→▲60)、その他産業(同▲39→▲53)が悪化する見通し。

3. 設備投資 ~ 前期を下回る

今期設備投資を実施した企業割合は39%と、前期(43%)を下回った。

投資内容別にみると、「設備機械等の更新、維持」(64%)が最も多く、以下、「生産・販売能力増強」(33%)、「省力化、合理化、省エネ」(22%)の順で、上位3項目の順位に変化はない。

来期に設備投資を予定している企業割合は31%と、今期を下回る見通し。

4. 経営上の問題点

経営上の問題点としては、これまで急速に上昇していた「原材料・仕入品価格高」(28%)が前期(49%)から大幅に低下した反面、「売上・受注不振」(66%)が前期(52%)から増え、調査開始(昭和55年7~9月期)以来、最高の平成10年1~3月期(69%)に次ぐ割合となったことが特徴。次いで、「競争激化」(49%)、「採算・収益の悪化」(31%)、「原材料・仕入品価格高」の順となった。

5. 平成20年冬のボーナス支給計画について

冬のボーナス支給計画について

平成20年冬のボーナス支給計画については、「支給する」企業割合は85%で、前年を4ポイント下回った。一方、「支給しない」(前年7% 今年9%)と「未定」(同4% 6%)は前年を2ポイント上回った。

1人当りの支給額が前年より「増える」とする割合は19%と前年(25%)を下回り、「減る」は40%

と前年(25%)を上回った。また、増加率をみると、「1~3%未満」が40%(前年49%)と最も多く、次いで「3~5%未満」が22%、「1%未満」が16%となった。増える要因は、「社員の意欲向上」55%(同62%)が最も多く、次いで「業績向上」35%(同29%)となっている。一方、「減る」とした企業の減少率は、「9%以上」が45%(同38%)で最も多く、次いで「3~5%未満」22%、「5~9%未満」18%と、減少率が増加率を上回る傾向にある。減る要因としては、「業績悪化」が84%(同85%)と大半を占めた。

ボーナス査定配分について

ボーナスの査定配分を職種別にみると、管理職は「実績査定の配分大」とする割合が最も高く(38%)、営業職および技術職、事務職では「実績査定の配分半分」の割合が最も高くなっている(各36%、41%、43%)。

6. 最近(平成20年10月以降)の雇用状況および採用計画について

雇用削減の検討状況について

最近(平成20年10月以降)の雇用削減の検討状況について、「検討している」が25%、「検討していない」が75%となった。「検討している」企業を業種別にみると、建設業(35%)が最も高く、次いで、小売業(29%)、製造業(27%)の順となった。削減の対象となる雇用形態については、「正社員」が58%と最も多く、次いで、「パート」(54%)、「派遣社員」(23%)となった。

平成21年4月入社予定の新規学卒者採用計画について

平成21年4月入社予定の新規学卒者採用計画について、当初計画(平成20年9月)より、「採用数を増やす」企業が8%、「採用数を減らす」が11%、「採用自体を見送る」が17%、「変更なし」が64%となった。

以上

【本件に関するお問い合わせ】

(株)鹿兒島地域経済研究所 (099-225-7491)

第 114 回 県内企業・業況調査結果集計表

単位：%

四半期別 状況 項目	平成20年7～9月期				平成20年10～12月期					平成21年1～3月期			
	前期実績				今期実績					来期見通し			
	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	D.I. (A)-(C)	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	D.I. (A)-(C)	前回 調査時 今期 見通し	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	D.I. (A)-(C)
自社の業況	5	39	56	51	8	33	59	51	(42)	5	30	65	60
製造業	5	48	47	42	8	42	50	42	(32)	4	32	64	60
建設業	4	24	72	68	7	20	73	66	(61)	7	18	75	68
卸売業	0	44	56	56	5	42	53	48	(54)	8	37	55	47
小売業	0	26	74	74	2	20	78	76	(57)	2	20	78	76
その他産業	10	42	48	38	13	35	52	39	(29)	5	37	58	53
生産高(製造業)	13	46	41	28	14	41	45	31	(26)	5	40	55	50
売上・完工高	15	35	50	35	15	34	51	36	(30)	8	33	59	51
製造業	18	41	41	23	15	42	43	28	(18)	5	37	58	53
建設業	13	24	63	50	15	24	61	46	(52)	11	17	72	61
卸売業	13	36	51	38	15	41	44	29	(26)	8	43	49	41
小売業	10	30	60	50	8	25	67	59	(43)	7	20	73	66
その他産業	17	38	45	28	19	35	46	27	(27)	11	40	49	38
製品・商品在庫 (適正水準比)	過剰 17	適正 73	不足 10	7	過剰 22	適正 71	不足 7	15					
販売価格	上昇 25	横ばい 53	低下 22	3	上昇 19	横ばい 52	低下 29	10	(1)	上昇 10	横ばい 57	低下 33	23
仕入価格	上昇 67	横ばい 30	低下 3	64	上昇 40	横ばい 51	低下 9	31	(59)	上昇 27	横ばい 59	低下 14	13
損益	好転 10	横ばい 41	悪化 49	39	好転 12	横ばい 30	悪化 58	46	(31)	好転 5	横ばい 39	悪化 56	51
製造業	9	47	44	35	11	41	48	37	(26)	4	44	52	48
建設業	7	31	62	55	9	15	76	67	(53)	2	22	76	74
卸売業	8	56	36	28	8	43	49	41	(27)	3	50	47	44
小売業	7	38	55	48	12	23	65	53	(33)	7	30	63	56
その他産業	15	35	50	35	17	24	59	42	(23)	8	43	49	41
資金繰り	楽 4	普通 66	窮屈 30	26	楽 4	普通 68	窮屈 28	24	(26)	楽 4	普通 64	窮屈 32	28
製造業	3	74	23	20	2	74	24	22	(22)	3	65	32	29
建設業	2	69	29	27	2	65	33	31	(31)	0	63	37	37
卸売業	3	71	26	23	3	74	23	20	(22)	5	76	19	14
小売業	2	50	48	46	4	59	37	33	(45)	3	59	38	35
その他産業	9	64	27	18	8	66	26	18	(18)	5	63	32	27

第114回 企業業況アンケート調査

回答率

単位：%

	対象企業	回答企業	回答率
製造業	148	108	73.0
食料品	65	53	81.5
繊維	10	6	60.0
木材	6	3	50.0
紙・パルプ	3	2	66.7
窯業・土石	15	10	66.7
機械・金属	20	14	70.0
電機・電子	20	13	65.0
その他	9	7	77.8
非製造業計	355	239	67.3
建設業	63	46	73.0
土木	22	16	72.7
建築	14	11	78.6
総合建設	12	8	66.7
その他	15	11	73.3
卸売業	62	39	62.9
食料品	29	19	65.5
建設資材	11	8	72.7
衣料品	2	1	50.0
家電製品	5	2	40.0
その他	15	9	60.0
小売業	109	60	55.0
百貨店・スーパー	19	12	63.2
衣料品	9	4	44.4
自動車	16	7	43.8
家電製品	7	2	28.6
石油	11	8	72.7
その他	38	23	60.5
外食産業	9	4	44.4
その他	121	94	77.7
旅館・ホテル	21	20	95.2
運輸	33	21	63.6
サービス	60	47	78.3
農林水産	7	6	85.7
合計(製造+非製造)	503	347	69.0

業況D . I . の推移

			全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
9年	10~12	月期	44	38	34	65	66	25
10年	1~3	"	44	48	8	54	57	49
	4~6	"	44	45	54	50	42	33
	7~9	"	47	53	46	55	46	38
	10~12	"	28	22	15	39	40	23
11年	1~3	"	24	30	1	30	31	17
	4~6	"	31	26	17	34	41	37
	7~9	"	31	28	30	43	37	20
	10~12	"	11	1	11	8	40	5
12年	1~3	"	11	5	4	18	24	8
	4~6	"	23	14	37	50	13	24
	7~9	"	23	15	35	31	25	21
	10~12	"	13	6	4	15	28	17
13年	1~3	"	22	27	2	18	35	18
	4~6	"	39	42	42	29	41	33
	7~9	"	41	51	30	43	39	28
	10~12	"	34	23	32	30	56	29
14年	1~3	"	34	31	44	37	36	28
	4~6	"	30	18	60	31	34	21
	7~9	"	30	13	52	31	44	24
	10~12	"	18	6	29	22	42	19
15年	1~3	"	25	13	29	19	41	28
	4~6	"	35	16	58	25	58	29
	7~9	"	24	7	48	29	34	25
	10~12	"	17	7	33	33	42	15
16年	1~3	"	12	5	35	8	23	11
	4~6	"	23	2	61	25	43	12
	7~9	"	21	8	37	27	36	14
	10~12	"	7	11	23	6	29	8
17年	1~3	"	24	16	31	17	33	31
	4~6	"	26	17	60	18	24	26
	7~9	"	27	23	40	23	28	25
	10~12	"	18	2	28	8	29	25
18年	1~3	"	22	19	23	14	36	18
	4~6	"	25	17	42	17	32	22
	7~9	"	32	31	33	25	43	28
	10~12	"	27	24	33	30	54	11
19年	1~3	"	24	19	27	35	52	5
	4~6	"	32	31	33	38	44	19
	7~9	"	38	45	31	41	51	19
	10~12	"	33	32	49	22	54	19
20年	1~3	"	34	26	49	32	52	26
	4~6	"	46	45	66	42	63	29
	7~9	"	51	42	68	56	74	38
	10~12	"	51	42	66	48	76	39
21年	1~3	月期見通し	60	60	68	47	76	53

(注) D . I . = 「良い」 - 「悪い」

売上・完工高D . I . の推移（前年比）

			全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
9年	10～12	月期	41	40	37	63	46	26
10年	1～3	"	53	55	31	65	57	53
	4～6	"	35	35	45	46	26	29
	7～9	"	35	44	44	29	27	27
	10～12	"	28	20	23	35	26	38
11年	1～3	"	18	21	4	17	23	17
	4～6	"	16	8	39	13	12	15
	7～9	"	14	10	15	32	24	0
	10～12	"	6	0	30	7	8	10
12年	1～3	"	3	2	17	7	0	2
	4～6	"	12	10	42	28	8	7
	7～9	"	13	8	36	11	4	16
	10～12	"	17	16	28	20	11	16
13年	1～3	"	12	20	9	12	5	24
	4～6	"	30	37	28	19	28	29
	7～9	"	39	50	40	38	43	17
	10～12	"	29	23	30	39	26	38
14年	1～3	"	30	33	33	38	24	22
	4～6	"	26	15	56	32	21	21
	7～9	"	18	7	46	25	20	22
	10～12	"	18	2	25	14	26	33
15年	1～3	"	21	8	50	10	15	36
	4～6	"	23	5	45	7	44	26
	7～9	"	13	0	35	17	18	14
	10～12	"	17	1	34	25	21	26
16年	1～3	"	3	30	43	4	14	10
	4～6	"	10	7	39	10	28	1
	7～9	"	9	2	39	17	24	6
	10～12	"	3	12	31	10	14	12
17年	1～3	"	21	22	41	7	18	19
	4～6	"	12	9	43	7	7	20
	7～9	"	17	21	40	13	3	12
	10～12	"	12	12	30	9	5	16
18年	1～3	"	13	18	31	16	6	3
	4～6	"	15	17	33	15	11	8
	7～9	"	18	22	11	25	17	11
	10～12	"	20	18	28	33	30	7
19年	1～3	"	13	18	9	31	17	8
	4～6	"	22	20	36	29	23	15
	7～9	"	27	31	34	35	28	14
	10～12	"	23	8	45	22	50	13
20年	1～3	"	24	10	32	20	45	27
	4～6	"	27	15	49	27	44	22
	7～9	"	35	23	50	38	50	28
	10～12	"	36	28	46	29	59	27
21年	1～3	月期見通し	51	53	61	41	66	38

(注) D . I . = 「増加」 - 「減少」

損益（前年比）D . I . の推移

			全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
9年	10~12	月期	34	32	36	43	46	19
10年	1~3	"	43	42	22	48	50	49
	4~6	"	27	35	39	25	17	18
	7~9	"	21	26	37	17	13	14
	10~12	"	16	13	19	15	14	20
11年	1~3	"	8	15	0	9	6	5
	4~6	"	3	3	20	14	1	6
	7~9	"	9	4	22	21	5	4
	10~12	"	4	4	13	4	11	4
12年	1~3	"	2	3	16	5	1	0
	4~6	"	9	1	34	24	11	21
	7~9	"	8	4	18	2	2	18
	10~12	"	13	9	27	6	8	19
13年	1~3	"	11	15	0	5	11	18
	4~6	"	22	39	23	17	0	15
	7~9	"	29	41	29	23	30	17
	10~12	"	29	26	44	27	39	14
14年	1~3	"	21	22	40	15	16	17
	4~6	"	13	0	42	19	8	9
	7~9	"	7	8	33	12	3	12
	10~12	"	11	7	19	16	20	19
15年	1~3	"	12	1	29	17	3	18
	4~6	"	13	2	25	19	16	13
	7~9	"	10	3	25	20	14	13
	10~12	"	11	4	30	18	13	15
16年	1~3	"	1	16	31	2	7	2
	4~6	"	9	2	45	12	13	3
	7~9	"	7	6	35	9	10	2
	10~12	"	5	2	28	6	5	13
17年	1~3	"	18	11	41	0	20	26
	4~6	"	12	7	42	2	0	20
	7~9	"	16	17	33	15	4	14
	10~12	"	13	11	30	5	9	17
18年	1~3	"	23	22	36	22	19	20
	4~6	"	22	21	25	9	35	17
	7~9	"	28	36	24	14	40	22
	10~12	"	23	16	32	19	42	19
19年	1~3	"	19	12	32	35	30	3
	4~6	"	18	16	18	30	23	13
	7~9	"	24	29	27	25	28	13
	10~12	"	31	31	38	21	58	13
20年	1~3	"	29	25	36	29	40	23
	4~6	"	33	33	51	12	50	26
	7~9	"	39	35	55	28	48	35
	10~12	"	46	37	67	41	53	42
21年	1~3	月期見通し	51	48	74	44	56	41

(注) D . I . = 「好転」 - 「悪化」

資金繰りD・Iの推移

			全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
9年	10~12	月期	21	22	10	14	28	23
10年	1~3	"	16	14	2	17	23	23
	4~6	"	11	13	0	4	23	12
	7~9	"	19	24	7	20	15	22
	10~12	"	15	7	2	16	22	26
11年	1~3	"	10	7	2	9	15	15
	4~6	"	3	2	12	2	9	13
	7~9	"	11	13	1	18	12	13
	10~12	"	8	3	4	9	19	14
12年	1~3	"	4	1	9	8	9	13
	4~6	"	0	4	13	6	6	15
	7~9	"	13	9	2	4	17	26
	10~12	"	11	9	2	5	8	26
13年	1~3	"	6	4	6	6	8	19
	4~6	"	11	16	6	5	12	22
	7~9	"	13	19	7	0	14	20
	10~12	"	16	12	14	11	22	24
14年	1~3	"	12	9	10	11	10	24
	4~6	"	6	2	7	4	6	12
	7~9	"	12	5	17	12	13	17
	10~12	"	10	4	2	15	19	22
15年	1~3	"	6	14	11	13	13	13
	4~6	"	5	4	8	17	17	23
	7~9	"	7	1	6	4	15	17
	10~12	"	9	1	17	4	17	19
16年	1~3	"	8	5	17	4	19	7
	4~6	"	3	8	5	2	20	8
	7~9	"	5	4	14	2	13	8
	10~12	"	3	1	0	3	13	4
17年	1~3	"	6	4	11	0	15	14
	4~6	"	5	0	8	5	13	14
	7~9	"	12	15	10	4	16	10
	10~12	"	12	10	9	7	20	17
18年	1~3	"	9	11	5	5	26	6
	4~6	"	7	5	2	2	17	7
	7~9	"	11	11	4	0	24	13
	10~12	"	13	9	13	0	28	13
19年	1~3	"	11	14	6	0	28	4
	4~6	"	7	6	4	7	24	8
	7~9	"	13	13	5	14	24	11
	10~12	"	16	12	19	5	35	9
20年	1~3	"	18	14	23	8	25	17
	4~6	"	20	16	25	22	34	14
	7~9	"	26	20	27	23	46	18
	10~12	"	24	22	31	20	33	18
21年	1~3	月期見通し	28	29	37	14	35	27

(注) D・I = 「楽」 - 「窮屈」

第114回

業況D.I.

	19年10～12月期	20年7～9月期	20年10～12月期		21年1～3月期
	前年同期	前 期	今期 見通し	今期 実績	来期 見通し
全 業 種	33	51	42	51	60
製 造 業	32	42	32	42	60
食 料 品	30	15	9	21	50
織 維	63	60	60	50	67
木 材	50	67	33	0	34
紙・パルプ	0	33	33	100	100
窯業・土石	37	100	67	60	40
機械・金属	33	32	26	57	64
電機・電子	24	73	80	77	92
そ の 他	0	86	57	71	100
建 設 業	49	68	61	66	68
土 木	43	79	64	63	63
建 築	71	46	60	64	73
総合建設	67	67	45	61	74
そ の 他	33	75	67	80	70
卸 売 業	22	56	54	48	47
食 料 品	20	45	40	37	47
建設資材	33	88	75	50	50
そ の 他	25	56	67	89	67
小 売 業	54	74	57	76	76
百貨店・スーパー	88	78	67	67	67
衣 料 品	75	100	100	100	100
自 動 車	25	80	40	100	100
家電製品	0	33	33	50	50
石 油	60	75	43	100	88
そ の 他	57	70	60	69	63
そ の 他	19	38	29	39	53
旅館・ホテル	16	12	24	20	31
運 輸	18	52	26	62	57
サ ー ビ ス	35	52	48	60	57

第114回

売上・完工高D.I.

	19年10～12月期	20年7～9月期	20年10～12月期		21年1～3月期
	前年同期	前 期	今期 見通し	今期 実績	来期 見通し
全 業 種	23	35	30	36	51
製 造 業	8	23	18	28	53
食 料 品	2	4	11	0	39
織 維	25	60	60	33	33
木 材	50	67	34	0	67
紙・パルプ	50	67	34	50	100
窯業・土石	11	78	67	70	45
機械・金属	33	18	18	57	72
電機・電子	8	60	71	61	92
そ の 他	25	58	43	71	58
建 設 業	45	50	52	46	61
土 木	38	79	79	63	50
建 築	72	28	28	9	73
総合建設	78	45	23	61	74
そ の 他	16	41	67	46	55
卸 売 業	22	38	26	29	41
食 料 品	15	30	10	5	42
建設資材	16	63	49	36	50
そ の 他	25	34	33	78	45
小 売 業	50	50	43	59	66
百貨店・スーパー	62	56	33	41	46
衣 料 品	75	100	100	100	100
自 動 車	37	60	20	100	86
家電製品	100	0	0	0	0
石 油	33	12	14	50	75
そ の 他	57	65	50	56	60
そ の 他	13	28	27	27	38
旅館・ホテル	5	29	23	35	17
運 輸	5	37	22	28	38
サ ー ビ ス	26	48	47	56	45

第114回

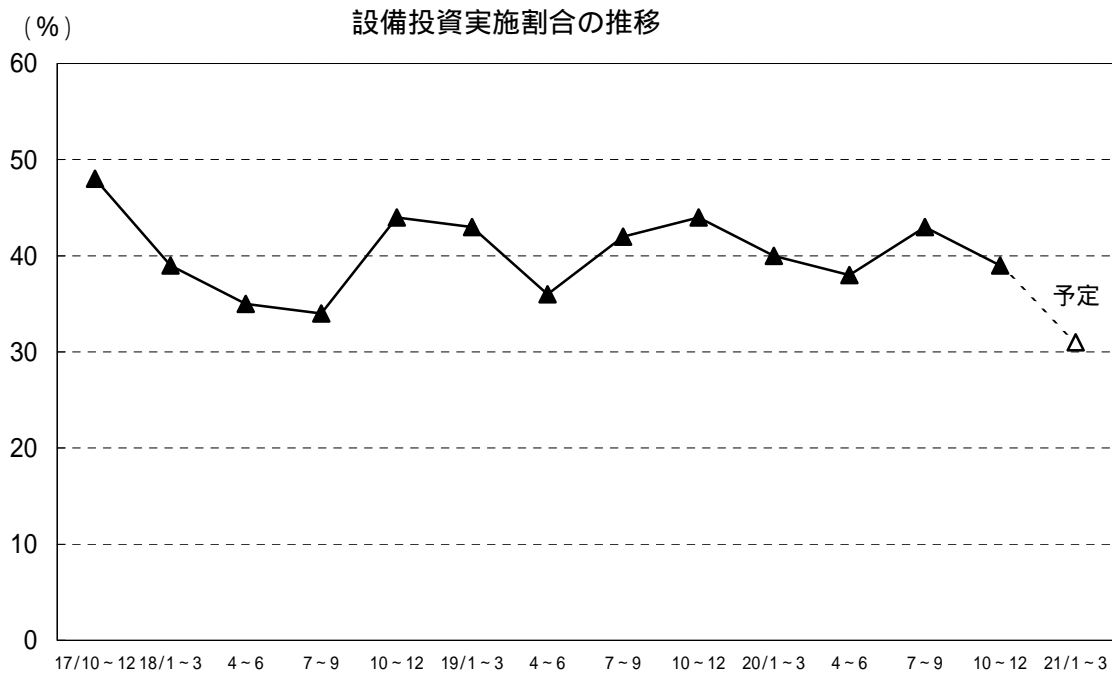
損益D.I.(前年比)

	19年10～12月期	20年7～9月期	20年10～12月期		21年1～3月期
	前年同期	前 期	今期 見通し	今期 実績	来期 見通し
全 業 種	31	39	31	46	51
製 造 業	31	35	26	37	48
食 料 品	40	20	13	23	37
織 維	0	60	60	50	33
木 材	50	67	34	0	0
紙・パルプ	100	33	33	100	100
窯業・土石	45	78	67	80	60
機械・金属	45	38	26	36	50
電機・電子	8	53	60	62	77
そ の 他	75	43	14	29	71
建 設 業	38	55	53	67	74
土 木	23	71	50	57	69
建 築	57	30	50	64	73
総合建設	67	45	45	74	75
そ の 他	31	67	67	82	82
卸 売 業	21	28	27	41	44
食 料 品	35	35	15	37	37
建設資材	16	37	63	25	50
そ の 他	11	11	25	78	75
小 売 業	58	48	33	53	56
百貨店・スーパー	62	56	22	33	50
衣 料 品	100	75	75	100	100
自 動 車	12	20	20	86	71
家電製品	100	0	0	0	0
石 油	100	26	37	50	50
そ の 他	48	60	35	52	53
そ の 他	13	35	23	42	41
旅館・ホテル	5	30	18	10	22
運 輸	0	61	17	62	43
サ ー ビ ス	28	46	39	56	49

第114回

資金繰りD.I.

	19年10～12月期	20年7～9月期	20年10～12月期		21年1～3月期
	前年同期	前 期	今期 見通し	今期 実績	来期 見通し
全 業 種	16	26	26	24	28
製 造 業	12	20	22	22	29
食 料 品	8	9	11	11	17
織 維	37	60	60	33	33
木 材	50	0	0	0	0
紙・パルプ	0	0	0	0	50
窯業・土石	11	56	22	50	40
機械・金属	33	19	32	21	29
電機・電子	0	36	36	33	73
そ の 他	0	14	29	57	43
建 設 業	19	27	31	31	37
土 木	9	22	29	38	44
建 築	14	30	27	27	27
総合建設	38	33	22	25	38
そ の 他	23	25	42	27	36
卸 売 業	5	23	22	20	14
食 料 品	5	15	10	11	6
建設資材	17	50	50	25	25
そ の 他	0	13	13	33	38
小 売 業	35	46	45	33	35
百貨店・スーパー	25	26	37	18	18
衣 料 品	75	100	100	100	100
自 動 車	12	20	20	14	14
家電製品	0	0	33	0	50
石 油	67	37	14	25	25
そ の 他	26	60	60	40	36
そ の 他	9	18	18	18	27
旅館・ホテル	0	7	13	12	21
運 輸	9	28	14	28	28
サ ー ビ ス	14	15	20	15	27



第114回

設 備 投 資

単位: %

		全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他
20 / 10 / 12 月	実施した	39	49	17	26	29	48
	設備機械等の更新、維持	64	70	57	40	47	71
	生産・販売能力増強	33	36	14	20	60	27
	省力化、合理化、省エネ	22	28	29	50	7	11
	経営多角化	5	2	0	10	13	5
	新製品等の研究開発	2	2	0	0	0	5
	その他	2	2	0	0	0	5
21 / 1 / 3 月	実施予定	31	44	11	21	22	37
	設備機械等の更新、維持	73	82	80	63	25	79
	生産・販売能力増強	30	24	0	25	75	27
	省力化、合理化、省エネ	23	29	20	50	25	9
	新製品等の研究開発	4	2	0	0	0	9
	経営多角化	1	0	0	0	0	3
	その他	6	9	0	0	8	3

(注) 計数は構成割合、投資目的は複数回答

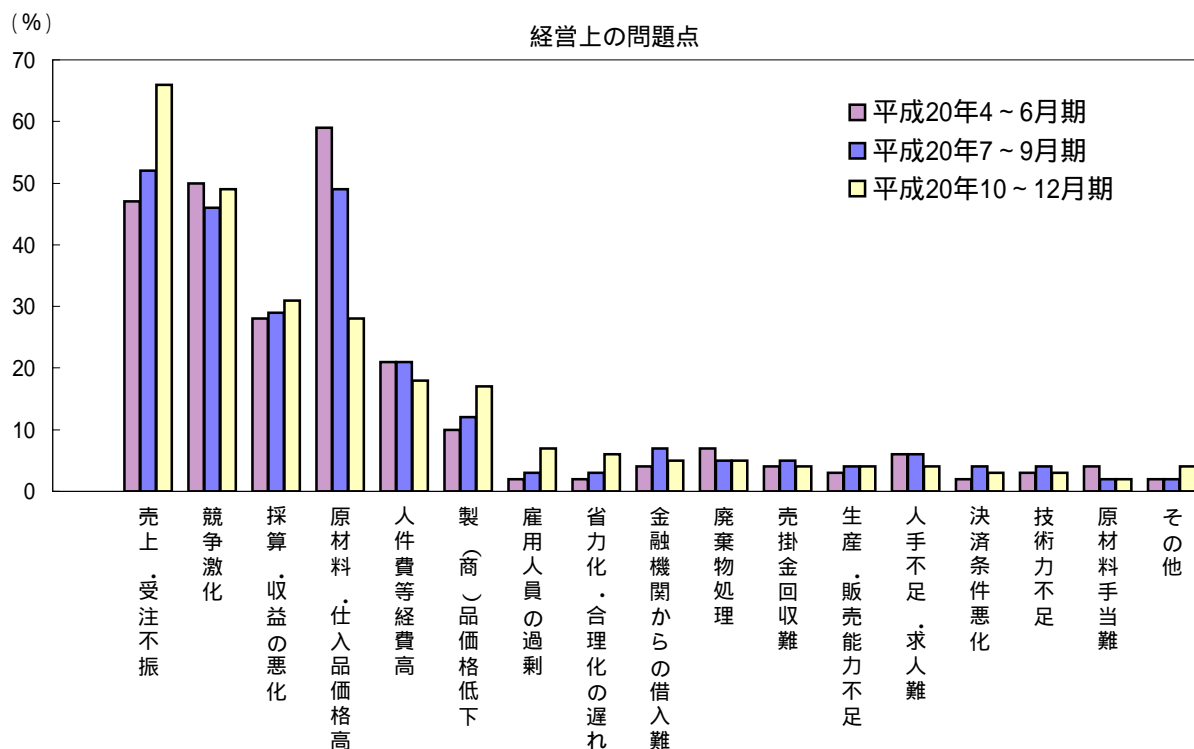
設備投資実施割合の推移

単位：%

			全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
9年	10～12	月期	36	42	33	25	37	35
10年	1～3	"	31	36	17	17	31	44
	4～6	"	33	37	25	20	30	42
	7～9	"	30	37	18	17	32	34
	10～12	"	33	37	25	22	28	44
11年	1～3	"	28	32	27	22	18	38
	4～6	"	30	39	19	17	30	33
	7～9	"	31	35	17	29	31	34
	10～12	"	31	39	15	27	31	32
12年	1～3	"	32	40	17	26	28	37
	4～6	"	35	41	26	27	34	38
	7～9	"	36	39	20	43	30	45
	10～12	"	35	45	23	30	30	31
13年	1～3	"	33	40	24	28	22	41
	4～6	"	32	36	24	25	35	31
	7～9	"	34	37	20	33	31	42
	10～12	"	31	40	19	33	29	28
14年	1～3	"	28	30	19	31	27	31
	4～6	"	30	33	15	28	35	35
	7～9	"	33	42	22	28	35	30
	10～12	"	31	37	21	28	27	40
15年	1～3	"	30	40	18	28	24	31
	4～6	"	32	34	14	40	30	38
	7～9	"	33	38	21	30	29	37
	10～12	"	33	43	26	25	22	38
16年	1～3	"	31	45	7	28	30	30
	4～6	"	31	38	33	21	24	33
	7～9	"	35	43	12	24	33	50
	10～12	"	33	36	21	23	36	39
17年	1～3	"	31	35	15	30	24	41
	4～6	"	35	42	26	28	29	39
	7～9	"	39	44	19	35	40	46
	10～12	"	48	59	27	50	39	55
18年	1～3	"	39	48	16	39	40	42
	4～6	"	35	45	15	28	33	40
	7～9	"	34	43	11	27	35	41
	10～12	"	44	50	28	35	44	50
19年	1～3	"	43	50	30	42	41	43
	4～6	"	36	48	20	31	28	40
	7～9	"	42	46	24	38	40	49
	10～12	"	44	58	25	24	42	48
20年	1～3	"	40	50	14	37	38	44
	4～6	"	38	45	11	27	42	45
	7～9	"	43	52	22	33	40	47
	10～12	"	39	49	17	26	29	48
21年	1～3	月期見通し	31	44	11	21	22	37

	全産業		製造業	建設業	卸売業	小売業	その他
	数	構成比					
売上・受注不振	66	25.8	63	80	64	71	56
競争激化	49	19.1	31	72	51	70	44
採算・収益の悪化	31	12.1	29	46	23	37	25
原材料・仕入品価格高	28	10.9	40	28	21	10	30
人件費等経費高	18	7.0	14	11	15	19	28
製(商)品価格低下	17	6.6	22	15	21	19	9
雇用人員の過剰	7	2.7	9	9	5	5	6
省力化・合理化の遅れ	6	2.3	10	0	8	3	5
金融機関からの借入難	5	2.0	5	4	3	9	6
廃棄物処理	5	2.0	11	0	3	3	1
売掛金回収難	4	1.6	6	2	10	2	1
生産・販売能力不足	4	1.6	3	2	5	9	3
人手不足・求人難	4	1.6	2	2	3	3	7
決済条件悪化	3	1.2	4	4	3	3	1
技術力不足	3	1.2	3	2	3	3	5
原材料手当難	2	0.8	4	0	3	0	0
その他	4	0.8	3	0	5	3	7
回答企業数	336		103	46	39	59	89

(注) 複数回答につき計算は $\frac{\text{該当項目の回答数}}{\text{回答企業数}} \times 100$



平成20年冬のボーナス支給計画（社数構成比）

単位：%

		全産業	前年	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業	
支給の有無	支給する	85	89	87	69	90	87	88	
	支給率	月給支給額の1か月分以内	22	22	16	36	24	23	23
		" 1か月分超～1.5か月分以内	33	33	24	39	29	39	39
		" 1.5か月分超～2か月分以内	24	21	32	10	32	23	15
		" 2か月分超	21	24	28	15	15	15	23
	今冬は支給しない	9	7	10	18	5	5	8	
未定	6	4	3	13	5	8	4		
一人当たりの支給額	増える	19	25	27	13	17	8	21	
	増加率	1%未満	16	13	17	25	34	0	12
		1～3%未満	40	49	33	25	33	50	53
		3～5%未満	22	15	25	0	33	25	17
		5～9%未満	9	10	17	0	0	0	6
		9%以上	13	13	8	50	0	25	12
	要因	社員の意欲向上	55	62	53	33	50	75	57
		業績向上	35	29	47	33	25	25	29
		同業他社と比べて低い	10	5	0	0	25	25	14
		その他	20	17	20	33	25	0	21
	前年並み	41	50	44	26	40	40	44	
	減る	40	25	29	61	43	52	35	
	減少率	1%未満	4	6	4	5	7	0	4
		1～3%未満	11	21	15	11	7	15	11
		3～5%未満	22	19	21	26	14	27	18
		5～9%未満	18	16	4	11	29	27	21
9%以上		45	38	56	47	43	31	46	
要因	業績悪化	84	85	92	100	79	83	68	
	経営体質強化に向けた人件費圧縮	28	24	15	22	29	33	40	
	同業他社に比べて高い	7	6	4	11	0	8	8	
	給与と賞与の配分見直し	5	6	0	11	0	8	4	
	社員平均年齢低下	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	1	6	0	0	7	0	0	

平成20年 冬のボーナス査定配分

単位：%

		全産業	前年	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
管理職	全部一定の支給率	13	12	11	12	11	8	19
	実績査定の配分小	11	13	8	21	6	10	13
	実績査定の配分半分	35	34	40	43	29	28	35
	実績査定の配分大	38	39	39	18	51	54	29
	全部実績査定	3	2	2	6	3	0	4
営業職	全部一定の支給率	12	11	9	9	14	6	20
	実績査定の配分小	14	14	14	22	3	16	13
	実績査定の配分半分	36	34	43	41	28	22	41
	実績査定の配分大	35	37	31	22	55	52	23
	全部実績査定	3	4	3	6	0	4	3
技術職	全部一定の支給率	11	12	7	10	5	7	22
	実績査定の配分小	18	17	21	23	10	29	11
	実績査定の配分半分	41	44	45	26	50	32	44
	実績査定の配分大	28	25	26	39	35	29	22
	全部実績査定	2	2	1	2	0	3	1
事務職	全部一定の支給率	14	15	9	16	11	9	23
	実績査定の配分小	25	22	25	29	18	31	23
	実績査定の配分半分	43	43	44	45	46	38	42
	実績査定の配分大	17	19	21	10	25	22	9
	全部実績査定	1	1	1	0	0	0	3

最近（平成20年10月以降）の雇用状況および採用計画について

単位：％

		全産業					
		製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業	
雇用削減	検討している	25	27	35	24	29	16
	削減対象						
	正社員	58	55	73	56	50	60
	パート	54	52	27	78	63	60
	派遣社員	23	35	20	22	13	13
	検討していない	75	73	65	76	71	84
計画の見直し 学卒者採用	当初計画（平成20年9月以前）より、採用数を増やす	8	9	9	3	4	12
	当初計画より、採用数を減らす	11	8	12	9	13	14
	当初計画から、採用自体を見送る	17	16	12	21	20	15
	変更なし	64	67	67	67	63	59

注) 削減対象は複数回答。

業種		最近の業況
製造業	焼酎	消費者の消費意欲低下による商品流通の不振や、甲乙混和酒の販売増から販売不振が目立っている。 市場環境の悪化で、嗜好品である焼酎も例外なく影響を受けており、平成21年は尚一層厳しくなるのではないかとと思われる。
	糖類	為替の不安定要因による影響で、業績変化が著しい。原料を中国に依存しているため、中国事情の影響を受けやすい。
	菓子	原材料の高騰に合わせて、販売単価の改定により販売数量の減少という状況が発生した。 平成20年は“篤姫効果”等があり、県内観光は良かった様に感じるが、21年以降が厳しいと思われる。23年の九州新幹線全線開通まで売上の維持または微増が望ましいが、消費の低迷は否めないため、業界的に非常に厳しい状況が予測される。
	米穀粉	米の粉ブームはあるが、九州全体では需要が思ったほどない。米の粉関係の商品は増加しているが、他の商品の落ち込みをカバーしきれていない。
	繊維	平成21年の市況が心配。
	木材	20年度末に向けて紙パの操業が低下するのは確実。4月以降も不透明。紙パの原材料調達については、国産を維持しながら当面輸入材で調整の方針。在庫削減後はチップ製造量も平年並みに回復予定。
	紙・パルプ	主原料(原紙)の値上げにて、内部コスト低減にも限度があり、販売価格へ転嫁を交渉中であるが、全体的な不況にて交渉が苦戦しており、業績に大きな影響が出ている状況です。
	窯業・土石	業界特有の状況(公共工事の縮減)に金融不安に端を発した不況が加わり、厳しさが増している。 年々厳しくなってきた。早く(早急に)景気対策をして欲しい。政府も補正予算を実施して欲しい。
	電気・電子	受注量が平均と比較し、30～40%ダウン。地域経済と地域雇用のため何とかしたいが、自らの努力に限界があり、耐えるしかない状況。 大手企業の生産減少により売上(受注)減になってきている。現金支払のところの売上が減ってきていて手形が多くなっている。 創業以来の悪い状況です。
建設業	建築	公共工事の減少を予想し、個人住宅・リフォームを手掛けているが、世界的経済不況、政治への不信感等で先行き不透明感があり、個人住宅、リフォームの受注も増加が見込めない状況にある。今後一層の合理化、経費節約が必要と思う。 公共工事減少に伴い民間工事も減り、金額の競争がますます激化し、結果的に赤字でないと受注できない。取引先もいつ民事再生を申請するか常に不安。
卸売業	建設資材 卸売	経営環境が非常に悪く、倒産が多く危ない会社には売らないように指示している。売上が伸びず、社員数が多いため、社員をどうして減らしたらよいか思索している。早く景気が良くなってもらいたいと思っております。
小売業	百貨店 ・スーパー	主に食品売りのスーパーですので、来店客数は変わらないが単価が低い。 消費者の購買マインドの低下が続いていたが、アメリカのリーマンショック以来、更に冷え込んだ。11月は大型催事の大規模伸張により19年実績を確保したが、衣料品、高額商品等の売上は不振。 競合店の出店が続いており、売上高、販売単価ともに低迷。店舗増強の設備投資も続いており、経費の増加で収益は更に悪化していく。 不況の影響が大きい。売上不振による収益の悪化を、コストカットによる修正でカバーする傾向強まる。
	衣料品	先行き見通せず。
	自動車	自動車業界は大変厳しいです。サービス部門の強化しかない。
	石油・ガス	仕入価格の急激な下落により、価格上昇時に仕入れた在庫の保有負担が大きい。小売価格を値下げしてもお客様の買い控えが定着してしまっている。更に公共事業減少で販売数量が落ち込んでいる。
	建設資材	自動車、半導体の大幅減(50%以上減少)に加えて円高等、さらに、焼酎の頭打ち、お茶の需要減、住宅・公共工事減等など、新聞テレビ等の報道そのままの最悪の状況になってきました。
	生活用品	建築・不動産業が悪く、外食等も単価が低くなったり回数が減り、外食産業の減少傾向が来年度も続くと思われる。お得意先の備品購入が控えられ売上予測が難しくなった。
	機械販売	急激な景気悪化のため、先行きが全く見えない。経営環境に良い材料がほとんど見当たらない。

業種		最近の業況
その他	旅館・ホテル	平成20年は篤姫効果にて前年を上回りました。21年の3月頃まで篤姫効果が期待されるが、4月以降については大きなイベント等話題になるような材料がないので苦戦しそうです。
		平成20年は篤姫の影響で、競争激化の中でもほぼ横ばいだった。しかし、21年は特別な材料がないので、入り込み数が減少すると競争激化の影響が実績に大きく響いてくるのではと考えています。また、原材料の値上がりが大きくなかなか売価に転嫁できない状況です。21年はもっと厳しくなるのではと思います。
		当館は篤姫効果と鍋料理の日本一賞を獲得した実績と来館者の口コミ効果で前年比2桁の売上の伸びとなっている。
	運輸・通信	消費の落ち込みで物流の動きが悪化傾向にある。
		原油価格は低下したが荷動きが低下傾向にある。
	設計・デザイン	建設関連だけに苦しい経営環境にある。
	美容	前年同時期と比較して売上が減少。加えて、20年初めに新規出店をしたが、こちらの売上が予想を下回り厳しい状況である。
	不動産	金融機関の不動産投資及び設置投資への融資が消極的なため、取引が激減してきている。
		業況不振、経済情勢の悪化等により、賃料引下げの要望が出てきつつある。
	情報	景気の悪化感が加速している様に感じます。
	建物管理	契約先の業績不振で、解約・契約料値引きが目立つようになった。その分新規契約を強化するも結果出ず厳しい状況。年明け、官公庁の入札を控えているが、担当者からは値崩れが予想され厳しいとの見込み。来期の経営計画を組むのが一層慎重さが要求される。
	美容院	11月はキャンペーンが成功して売上は増加しました。但し、21年1月以降は売上は減少すると思います。今後、経費(特に人件費)について対策を考えないといけないと思います。
		お客さまの来店周期が伸びている。客単価も落ちている。明らかに不景気のせいだと思います。
広告	特に10月以降悪化の度が急。マス媒体(地場)はじめ広告関連はかつてない程悪化している。	
農林水産業	燃料代が落ち着いたが、魚価も11月より下がっている。	